

第34回議会運営委員会会議記録

- 【開催日】 平成27年5月13日(水)
【開催場所】 第一委員会室
【開会・散会時間】 午後1時～午後1時21分
【休憩時間】 なし
【出席委員】

委員長	大井淳一郎	副委員長	石田清廉
委員	河崎平男	委員	下瀬俊夫
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外議員等】

議長	尾山信義	副議長	三浦英統
----	------	-----	------

【事務局出席者】

事務局長	古川博三	事務局次長	清水保
主査兼議事係長	田尾忠久	議事係主任主事	原川寛子

【付議事項】

- 1 平成27年第1回(5月)臨時会に関する事項について
- 2 その他

【議事の概要】

1 平成27年第1回(5月)臨時会に関する事項について

(1)会期案について

・5月20日(水)から5月26日(火)までの7日間に決定した。

(2)議事日程案について

・事務局から議事日程案を説明し、了承した。詳細は別添資料のとおり。

(3)執行部出席者のうち異動のあった者の自己紹介

・申合せにより執行部出席者のうち異動のあった者の自己紹介をすることを了承した。

(4)人事案件について

・申合せにより議案を上程し、提案理由の説明後、休憩し、全員協議会で質疑を行い、再開後採決する。同意された者は、議場にて挨拶を行う旨了承した。

・大井淳一郎委員長から市長が以前人事案件については本会議でという話があったが、何も動きがなく申合せどおりやるということか確認があった。

・事務局から議運で決定されれば慣例に従い、このような形でやるということを執行部に申し添えるという発言があった。

・下瀬俊夫委員から全協が非公開なので人事案件について公開の場でやるべきだというのが市長のスタンスで、議会は人事案件について非公開でしたほうが良いというスタンスである。基本的に違うが、市長に了解なり、同意はとれるものかという確認があった。

- ・事務局から議会としての考え方は従来のとおりということで、議運で決定されたことを執行部に伝えるが、異論が出るかは分からないという発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から申合せでは本会議で質疑をしないということになっているが、市長が公開の場でやってくれと言ったときにできるのか。その場合は全協では説明をしないということか、それとも申合せどおりにやるのかという発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から最終的には議運のほうでの取扱いになると思うとの発言があった。
- ・事務局から申合せ64はあくまでも全協での説明が前提で、全協で人事案件を取り扱わないということになれば本会議で質疑をすることは問題ないと思う。執行部の回答によって、議運で確認するようになるという発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から全協の位置付けについて積み残しになっているので、公開・非公開についても話し合っていきたいという発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から個人に関わる問題については基本的に本会議でやらないが、人事政策については本会議でできるのか確認があった。
- ・事務局から基本的に議案として上がってきているので、本会議での質疑は可能と理解していると発言があった。

2 その他

(1) 全員協議会の開催日時

- ・5月20日(水)午前9時からとし、議運決定事項の報告、議員表彰、事故報告を行う旨了承した。

(2) エコスタイル(クールビズ)について

- ・市では5月1日から9月30日までとするが、5月臨時会の初日である5月20日(水)は、従来どおりとする旨了承した。

(3) その他

- ・下瀬俊夫委員から政務活動費の報告について今は執行部の旅費規程を準用していて議会としての規程などはないのか確認があった。
- ・事務局から議員、職員等の出張は全て市の旅費条例を準用している関係上、慣例として政務活動費の旅費も準用しているという発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から政務活動費の報告書の形式に従って報告するとなると旅費規程の準用では対応できないのではないかと発言があった。
- ・事務局から今までよりどころがなかったので、あくまでも旅費規程を準用しているとの発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から委員会等で行く出張と政務活動費とはきちんと違った対応をすべきではないかと発言があった。議会運営委員会で一定の方向性が出れば政務活動費の報告に関する規程が要するのか確認があった。
- ・事務局から政務活動費の基準については条例の別表に記載されているが、交通費等の取扱いについて特別な規程はない。13市の取扱いを参考にしたいとの発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から県内はほとんど旅費規程で実費主義のところはほとんどないと思う。旅費規程でいくと余らないので書籍を買っても実績が何も出てこないが、政務活動費をできるだけ有効に使いたい。市民に対して1円まで含めて説明する責任があるのではないかと発言があった。

・大井淳一郎委員長から27年度は他市の状況も踏まえ時間をかけて議論していくので、会派内での調整をお願いしたいとの発言があった。

平成27年(2015年)5月13日

議会運営委員会委員長 大井 淳一郎